



1997.11.25

No.4 2

元禄10年 万多羅寺村年貢皆済目録(1697年)

(史料出所：尼崎市『尼崎市史』第5巻pp.622-623)

(原文には、漢数字が使用されているが、アラビア数字で表記する。なお、原文は縦書き。)

元禄十^{うし}年御年貢皆済目録

一 高301石2斗2升2合

此取米152石4斗4升5合

外ニ

米3石6斗1升1合5夕

銀45匁1分8厘

納合 米156石5升6合5夕

銀45匁1分8厘

右内訳

大豆15石2斗4升5合

此銀1貫50匁9分1厘

米50石8斗1升5合

此銀3貫658匁6分8厘

米8石6斗8升6合

米3石6斗1升1合5夕

此銀260目3厘

銀45匁1分8厘

納合 米86石3斗8升6合

銀5貫15匁8分

外ニ

一 米4石5斗7升4合

万多羅寺村

高ニ5つ6厘1毛内

夫米

御蔵前入用

10分1銀納

但、石ニ付69匁かへ

3分1銀納

但、石ニ 72匁かへ

大坂 冬 春 御蔵詰

夫米銀納

但、石ニ付72匁かへ

御蔵前入用

御口米

但、取石ニ付 3升宛

みぎのよけりきりうしに、ごらんじょうつがまつりうしあげそうのみ、もし、の、ごぞきうらまはしなれ、
右之通去丑年御年貢皆済御勘定仕上申候、若相違之義御座候ハ、仕直し
差上ケ可申候、以(上)

元禄11年 寅12月

摂州川辺郡万多羅寺村庄屋

与一兵衛

同村年寄

甚兵衛

同断

又兵衛

如前書丑年分御物成銀米御勘定仕上候ニ付、為後日覚目録令奥判遣之候、若相違
之儀候歟又は百姓申分於有之は此勘定可為反故候、以上

寅 12月

辻弥五左衛門

村庄屋

年寄

惣百姓

◎ 史料解説のための参考(単位換算)

田畑の面積の単位 1町 = 10反 = 100畝 = 3000歩(坪)
穀物(容積)の単位 1石 = 10斗 = 100升 = 1000合
通貨(金と銀) 金1両 = 銀50匁(元禄13年まで、以後60匁) = 銀4分
重さの単位 1貫 = 1000匁(目) = 10000分